

佐久間ダムとは？



佐久間ダムは、静岡県浜松市と愛知県北設楽郡豊根村にまたがる天竜川に建設された、発電を目的としたダムです。

日本第9位の高さ^{そうちすいようりょう}と第8位の総貯水容量^{ほこ}を誇る日本屈指の巨大ダムで、発電量においても国内最大級です。

発電以外にも、かんがい^{こうずい}(農業用水)や工業用水、上水道に利用されるとともに、洪水調節にも貢献しており、わたしたちの生活を支えています。

ダムによって人工的に
形成された佐久間湖は、
ダム湖百選にも選定!!



型 式 重力式コンクリートダム

目 的 発電

堤高/堤頂長 155.5m/293.5m

総貯水容量 326,848,000m³

ダム施設 佐久間電力館 (9:00 ~ 16:30営業)
Ⓜ月曜日(月曜日が祝祭日の場合は火曜日)、
12/28 ~ 1/3 ※8月は毎日開館

駐車場 あり

見学可能時期 通年

アクセス

愛知県東部の三河方面から
東名高速道豊川ICより約80分、三遠南信道佐久間川合ICより約10分

静岡県浜松・浜北方面から
東名高速道浜松ICより約90分、新東名浜松・浜北ICより約70分

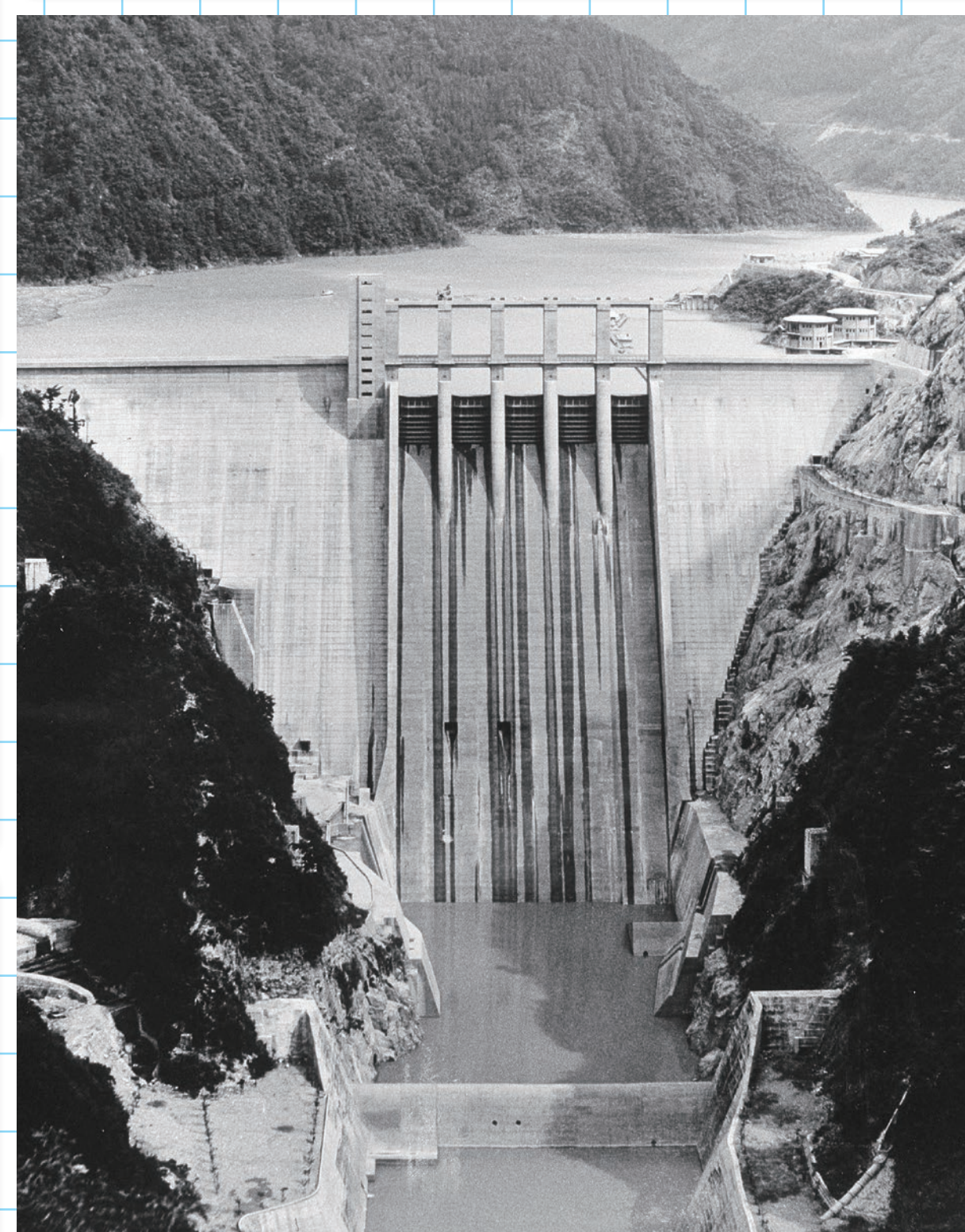
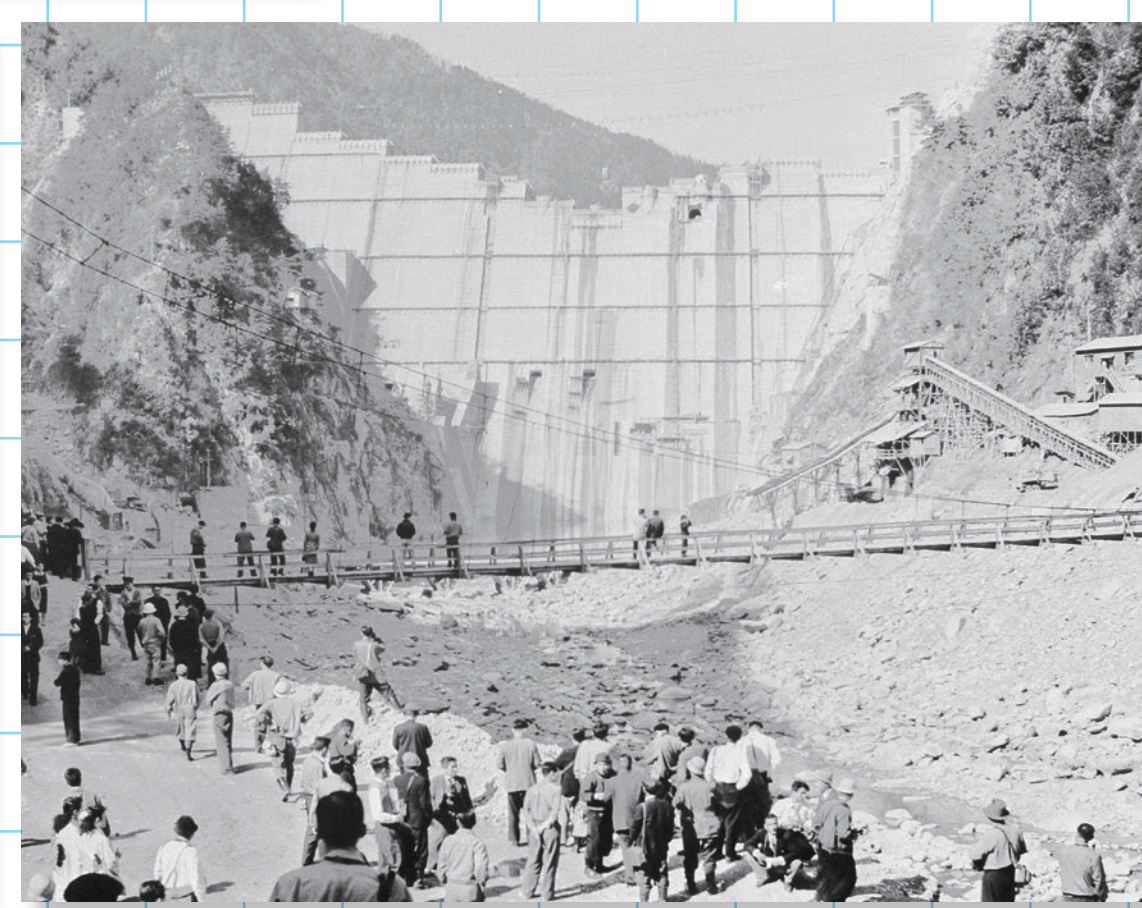
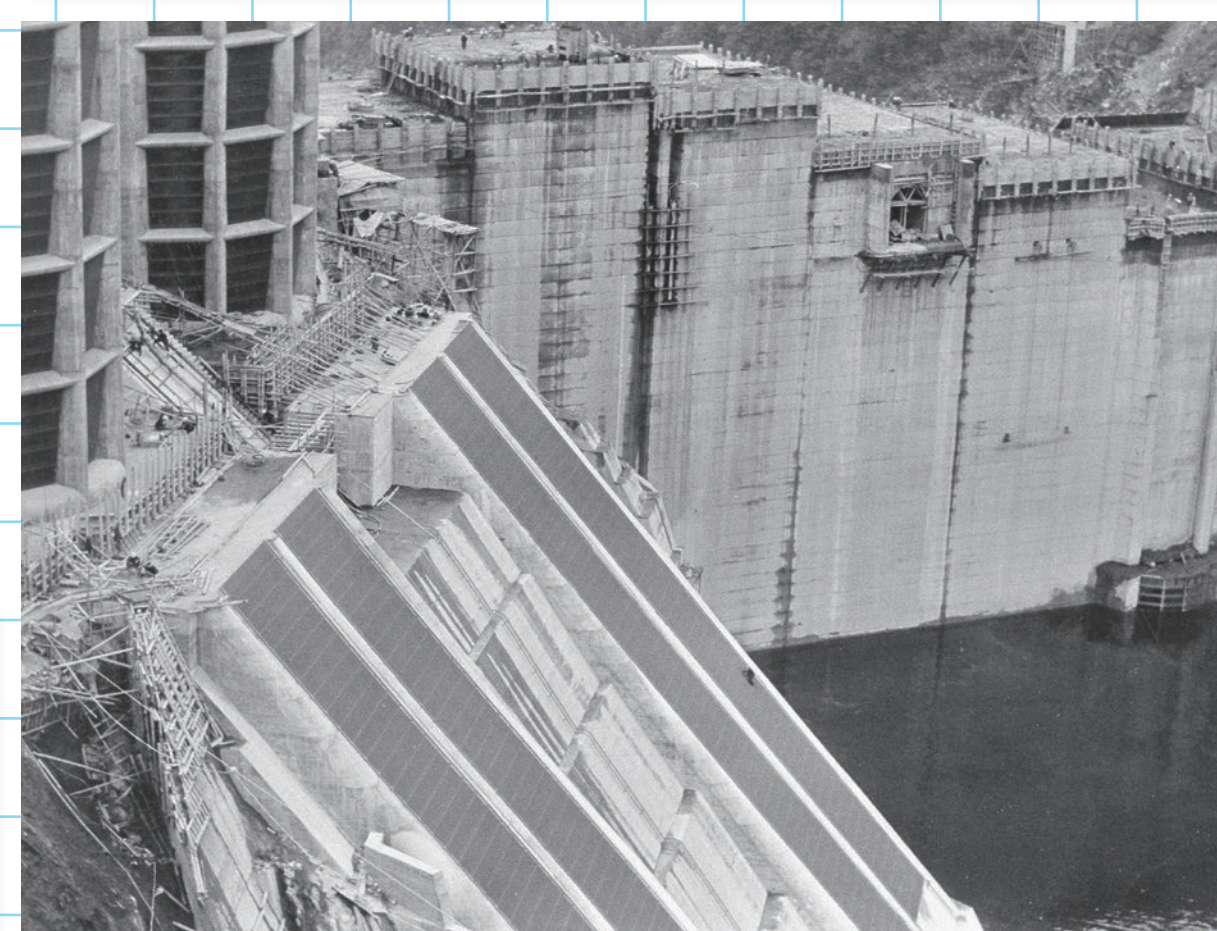
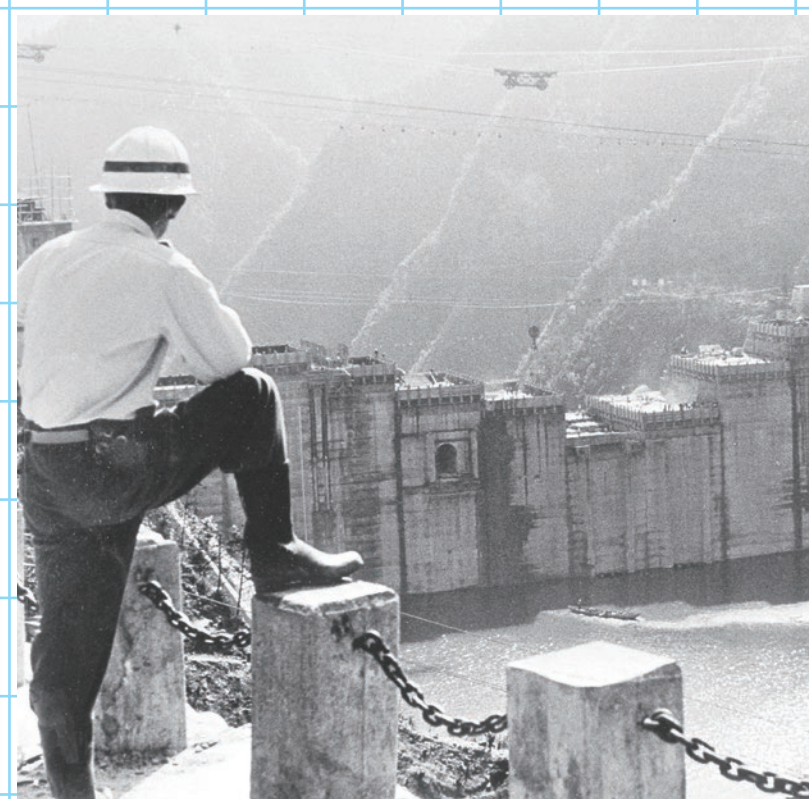
佐久間発電所の
年間総発電量 **約14億kWh 日本第1位**

佐久間電力館

佐久間電力館では、佐久間発電所と佐久間第二発電所のしくみ、佐久間ダムの役割、建設の歴史などをわかりやすく紹介!



佐久間ダムができるまで



戦後、深刻な電力不足で苦しんでいた日本では、国民に十分な電力を供給するべく、水力発電用のダム建設計画が日本各地で持ち上がります。

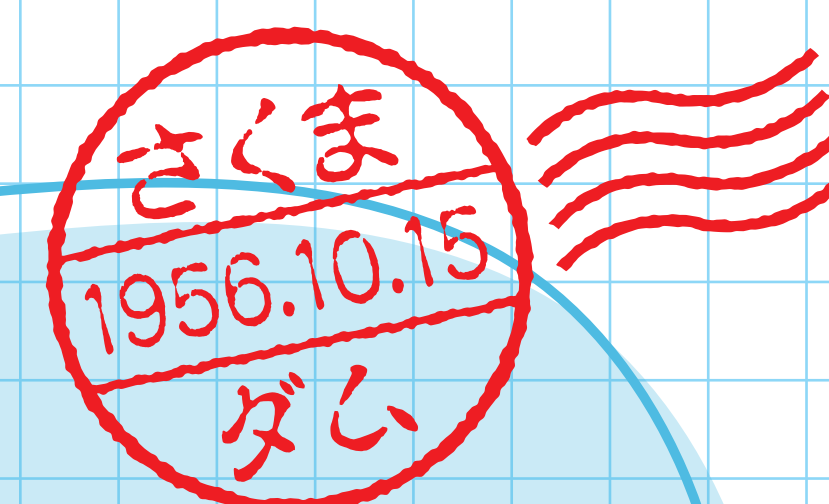
その中で誕生したのが佐久間ダム。「天下の“**暴れ川**”」とも呼ばれ開発困難と予想された天竜峡谷で、技術力を結集し、1953年の着工からわずか**3年**という短期間で完成。

延べ**350万人**が建設工事にたずさわります。

当時は、**貯水池式発電所として日本一**を誇り、佐久間ダムにおける発電出力規模・年間発生電力量は、全国※の発電設備ならびに発生電力量のそれぞれ約3%にも達するほど。

最新の工法と大型機器の導入で誕生した佐久間ダムは、**戦後日本の土木技術史の原点**となり、およそ**70年**にわたって電力を生み出しているのです。

※当時の9電力会社

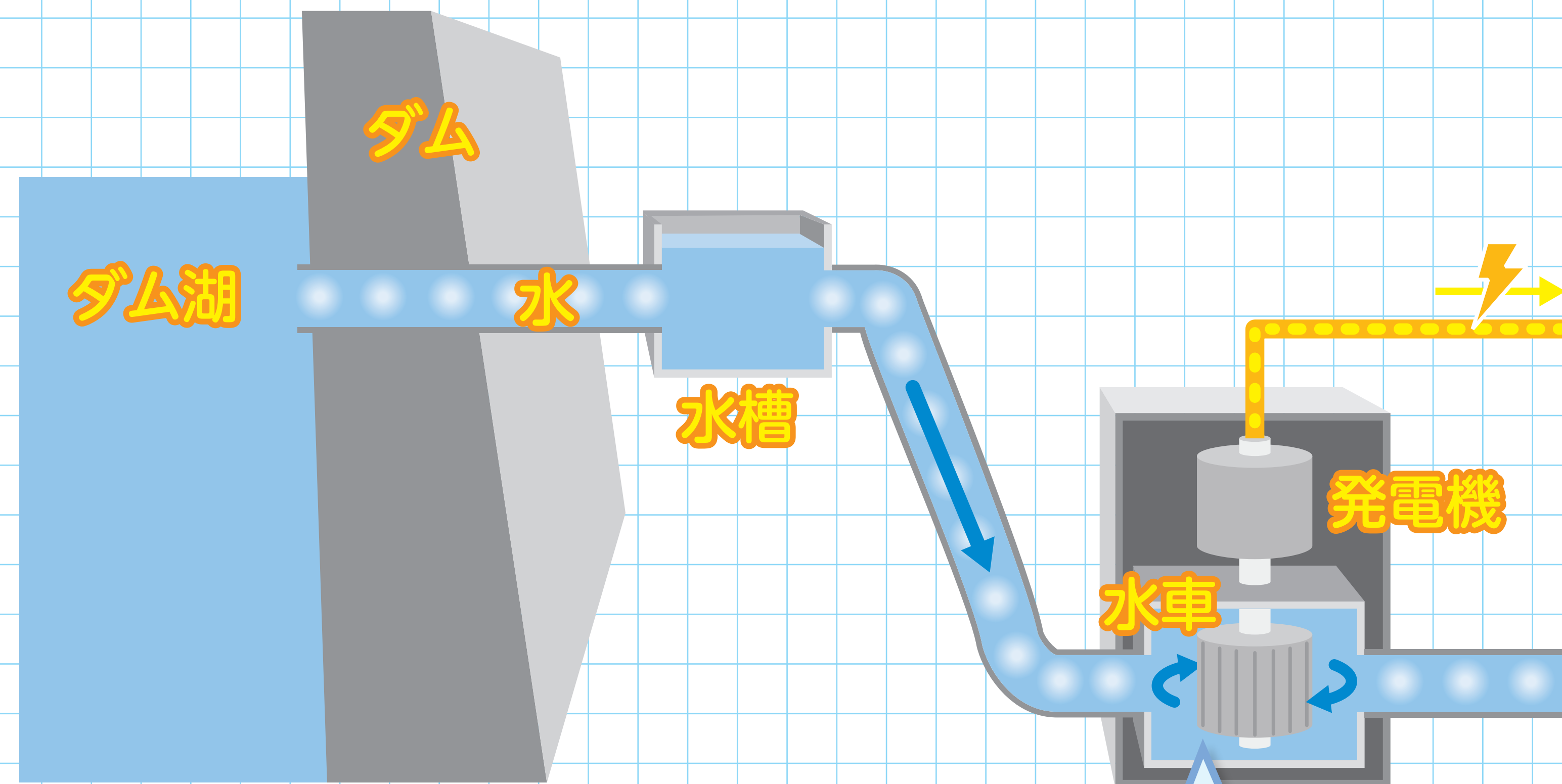


1956年10月15日の
佐久間ダム完成式に合わせ、
記念切手も発行!

1956
1953

水力発電のしくみ

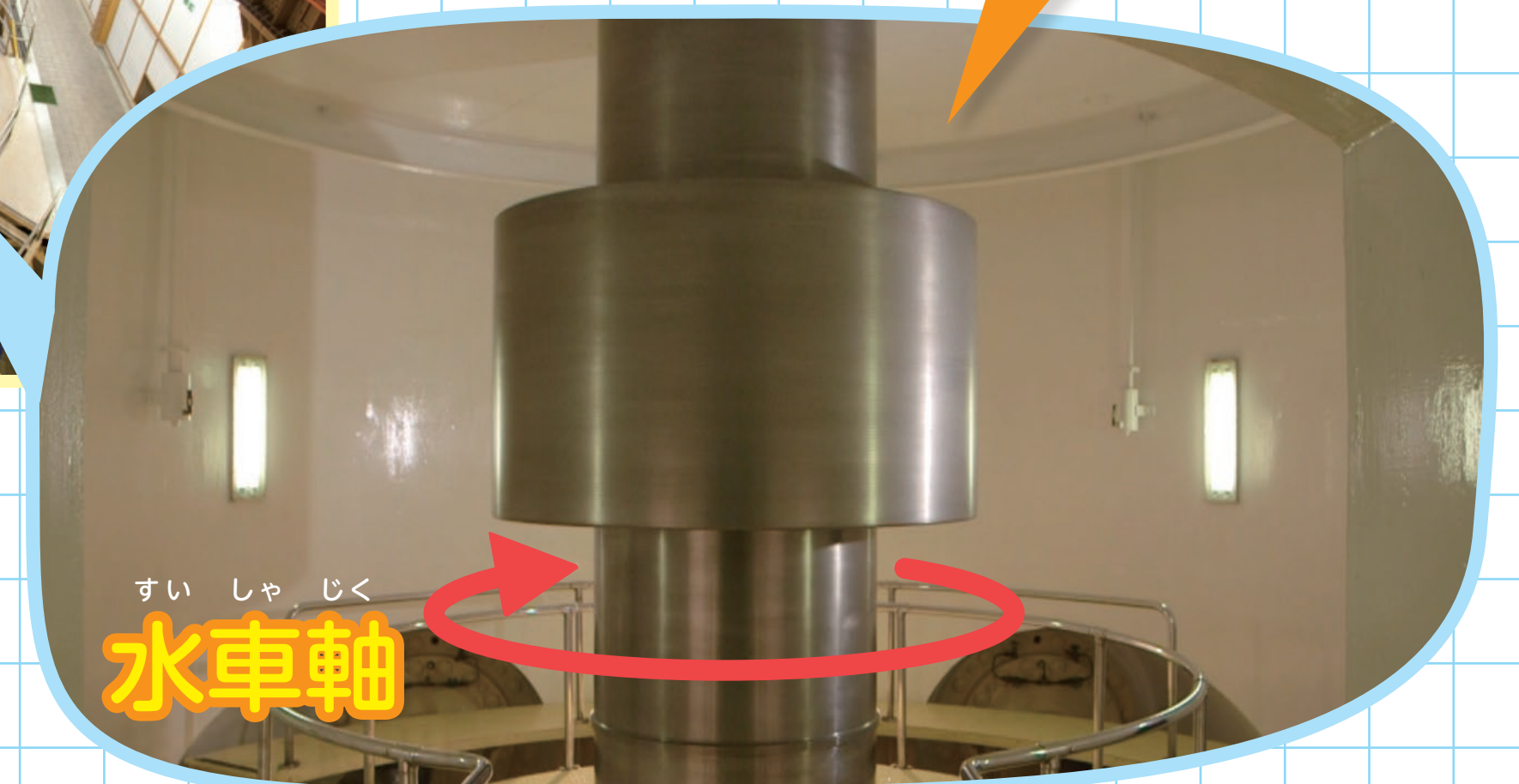
佐久間発電所は、水力発電により電気を生み出します。では、水力発電とは、どのように電気をつくっているのでしょうか？



ダムに貯めた水は、大きなパイプで発電所までつながっています。
このパイプを通して、ダムにある大量の水を発電所へ一気に落とします。
この落差を利用して、たくさんの水を勢いよく落とすことで、発電所の中にある水車を高速で回転させます。
水車が回転すると発電機も同時に回転し、これにより電気がつくられるのです。



発電機



水車の軸は、1分間に
167回転(50Hz)
または**200回転(60Hz)**

水車軸

佐久間発電所の4台の水車を回すためには
1秒間に**306t**(おうちのお風呂**1520**杯分くらい)の水が必要なんだ!!

サステナブルなエネルギー

水力発電は、水という自然がエネルギー源であり、繰り返し使うことができるため、再生可能エネルギーの一種としても注目されています。

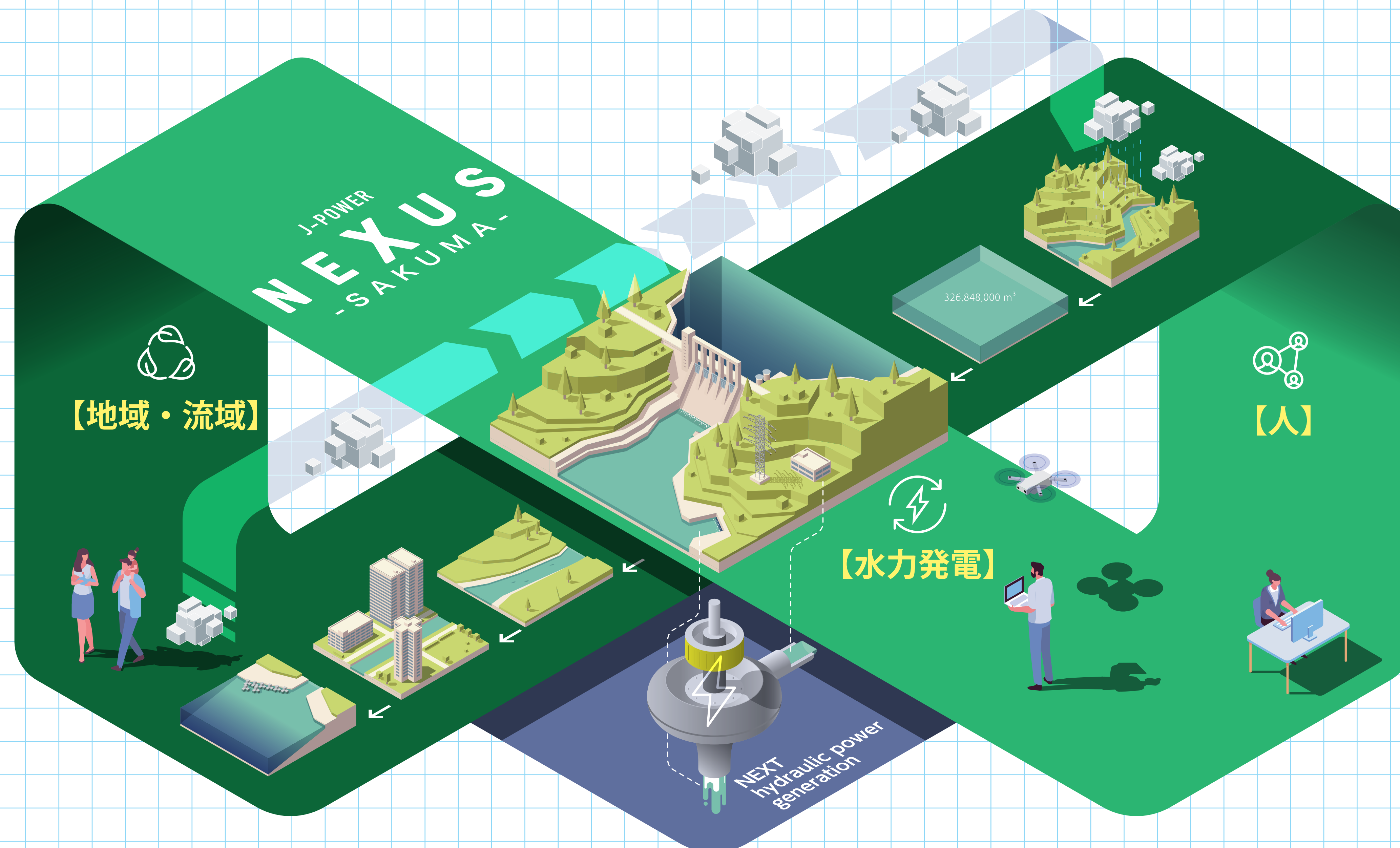
発電時にCO₂を出さない環境にやさしい水力発電は、未来を支えるエネルギーとして私たちの生活を支えているのです。



NEXUS佐久間プロジェクト



地域の皆様とともに新たな価値とエネルギーを生み出す「次世代水力」を佐久間に。そんな想いを胸に、10年後の完成を目指して「NEXUS佐久間プロジェクト」を進めています。「NEXUS佐久間プロジェクト」は、運転開始から70年を経て高経年化した設備を一新し、発電能力を高める佐久間発電所のリパワリング(設備更新)を行う計画です。「NEXUS」という名前には、連鎖やつながりを意味する単語のNEXUS(ネクサス)に、持続可能な未来(NEXT)のため、私たち一人ひとり(US)が考え実行する、という想いを込めました。

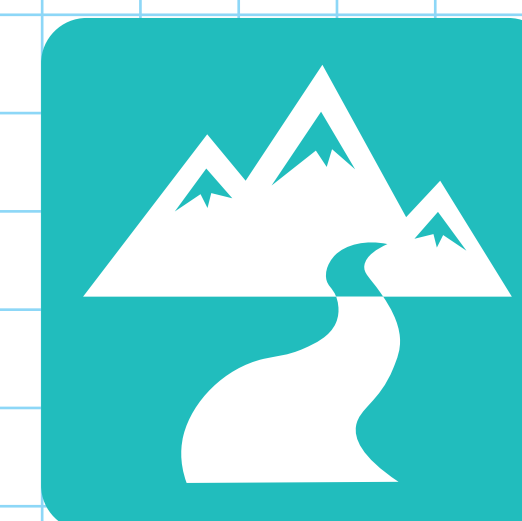


NEXUS佐久間 プロジェクトで目指すこと



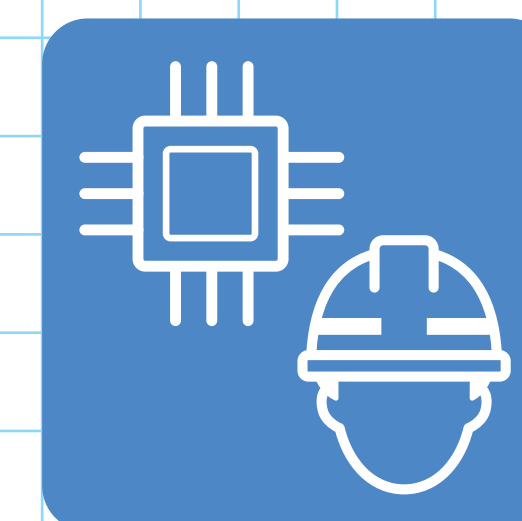
さらなる発電出力・
発電電力増

純国産
再生可能エネルギーの最大化



地域・流域との共生

地域から信頼され
必要とされる発電所へ



現場力×
デジタル技術活用

より高度に、確実に、
安全に働ける場所に

来たれ! 竜神まつり

毎年10月の最終日曜日に佐久間ダムで開催される「竜神まつり」。

およそ60回を超える歴史あるイベントで、戦後復興の象徴とも言われた佐久間ダムと地域の今後の発展を祈る行事です。

佐久間ダムを舞台に竜神の舞や飛龍太鼓など伝統芸能が行われ、

広場では地元物産即売会や佐久間の山の幸を味わえます。

迫力満点の湖上打上花火も見どころです

斜め約45度に傾け
打上げる珍しい花火!



全長約13m、重さ約60kgの
「竜神」が舞う!!



昭和天皇が皇居に住む鯉を
ダム湖に放流したことから、
竜神は 鯉のうろこ を
まとっているのだ!



POWER
Group

今年度開催情報

開催日	令和8年10月25日(日)
開催時間	AM10:00 ~ PM3:00
主催者等	天竜川とともに生きる文化伝承事業実行委員会
お問い合わせ	浜松市佐久間地域観光協会(TEL.053-965-1651)
会場	佐久間ダム湖畔広場
駐車場	佐久間歴史と民話の郷会館(旧佐久間協働センター)、旧佐久間中学校グラウンド、中部天竜駅前半場公共駐車場 ※当日ダムには駐車できません
交通	新東名・浜松浜北ICから 国道152号を北上 浜松いなさ北ICから 三遠南信道を北上 豊橋駅 国道473号を進む (約65分) 三遠南信道 佐久間川合IC→ 国道473号を進む(約25分) JR飯田線中部天竜駅下車(約100分) 駐車場



※バスは朝9時頃から随時運行
無料バス(約10分)

クイズにチャレンジ！

Q1

佐久間ダムは
約何年前にできた？

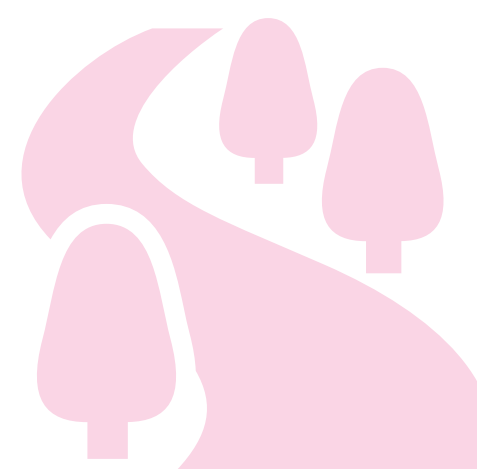
- ①5年前 ②30年
③70年前 ④100年前



Q2

次の市町村のうち、
佐久間ダムがある
天竜川が流れているのは？

- ①牧之原市 ②掛川市
③浜松市 ④静岡市



Q3

佐久間発電所の水車を
まわすのに必要な水は
1秒間どれくらい？

- ①コップ1杯 ②ペットボトル50本
③バケツ500杯 ④お風呂1520杯分



Q4

NEXUS佐久間で、
佐久間ダムはどう変わる？

- ①巨大ロボになる ②虹色のダムになる
③宙に浮く ④新たなコミュニティ拠点になる



Q5

佐久間ダムは
何年間で完成した？

- ①3年 ②7年
③20年 ④50年



Q6

佐久間ダムの完成式では、
記念に何がつくられた？

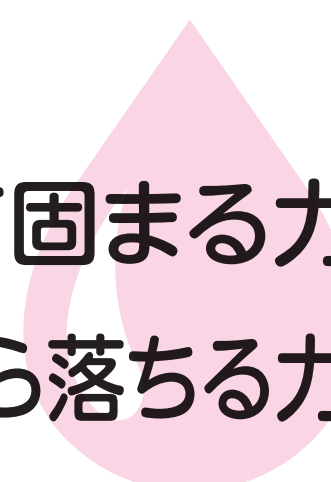
- ①切手 ②銅像
③佐久間電力館 ④飯田線



Q7

水力発電は
どんな力を使って
電気をつくっている？

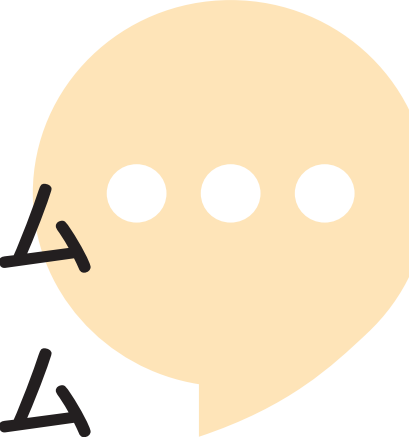
- ①水が蒸発する力 ②水が凍って固まる力
③水の浮く力 ④水が高いところから落ちる力



Q8

佐久間ダムみたいな
ダムって、
なんていうのかな？

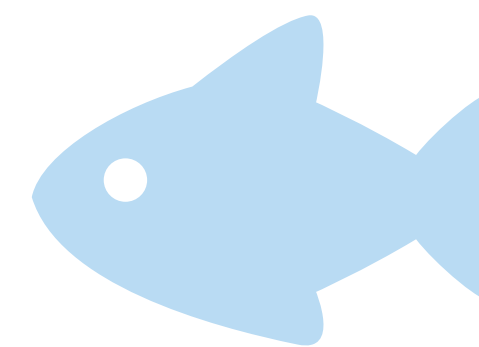
- ①重力式ダム ②腕力式ダム
③脱力式ダム ④引力式ダム



Q9

竜神まつりの竜神は
何のうろこを
まとっている？

- ①金魚 ②うなぎ
③鯉 ④ドラゴン



J-POWERグループの日本での活躍



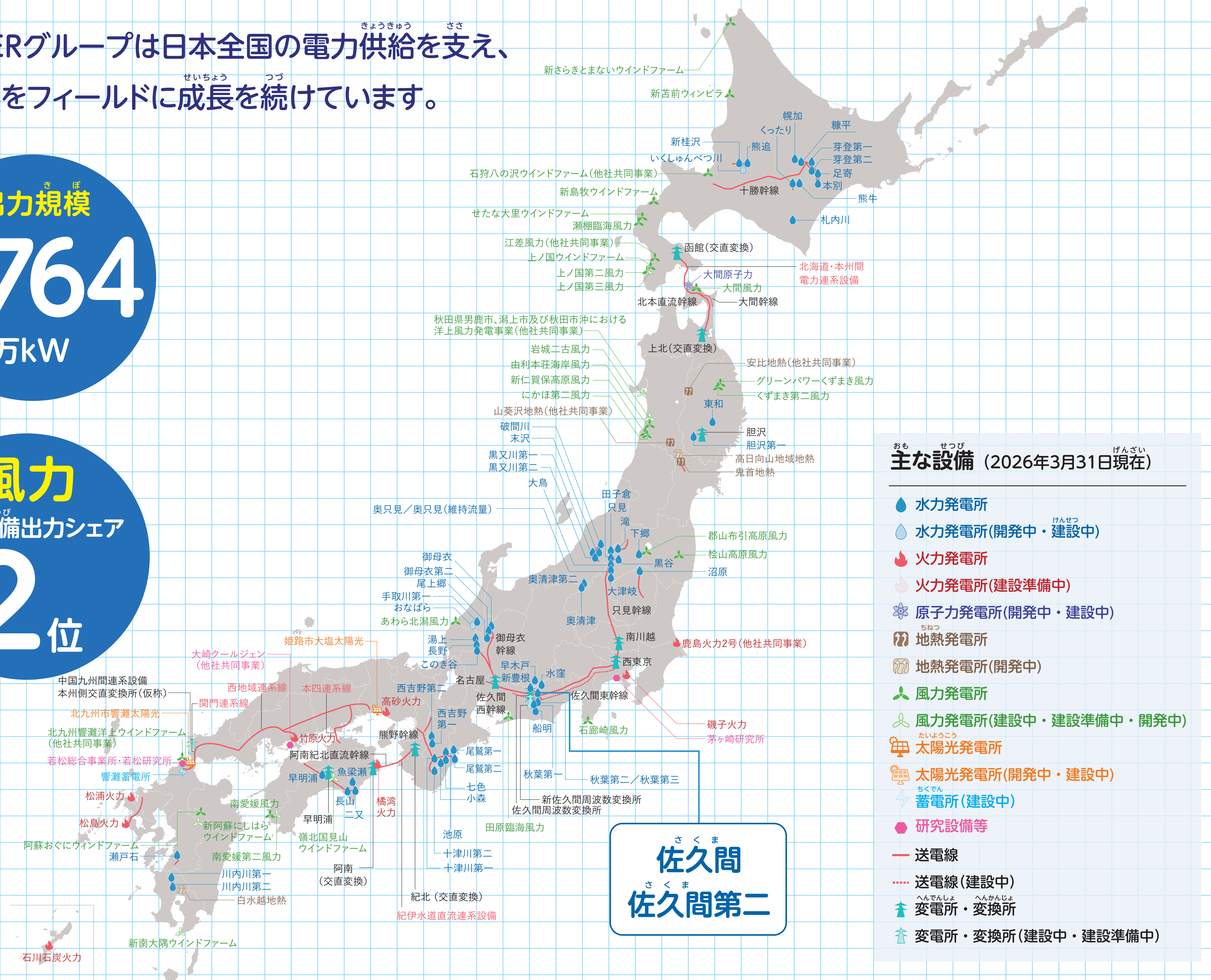
1952年に設立されたJ-POWERグループは日本全国の電力供給を支え、さらに国内での実績を基に世界をフィールドに成長を続けています。

発電設備
全国 98 力所

出力規模
1,764 万kW

水力
国内設備出力シェア 2 位

風力
国内設備出力シェア 2 位



J-POWERグループの^{かつやく}世界での活躍



1952年に設立されたJ-POWERグループは日本全国の電力供給を支え、さらに国内での実績を基に世界をフィールドに成長を続けています。

海外発電事業実績
※開発中・建設中含む

44プロジェクト

出力規模

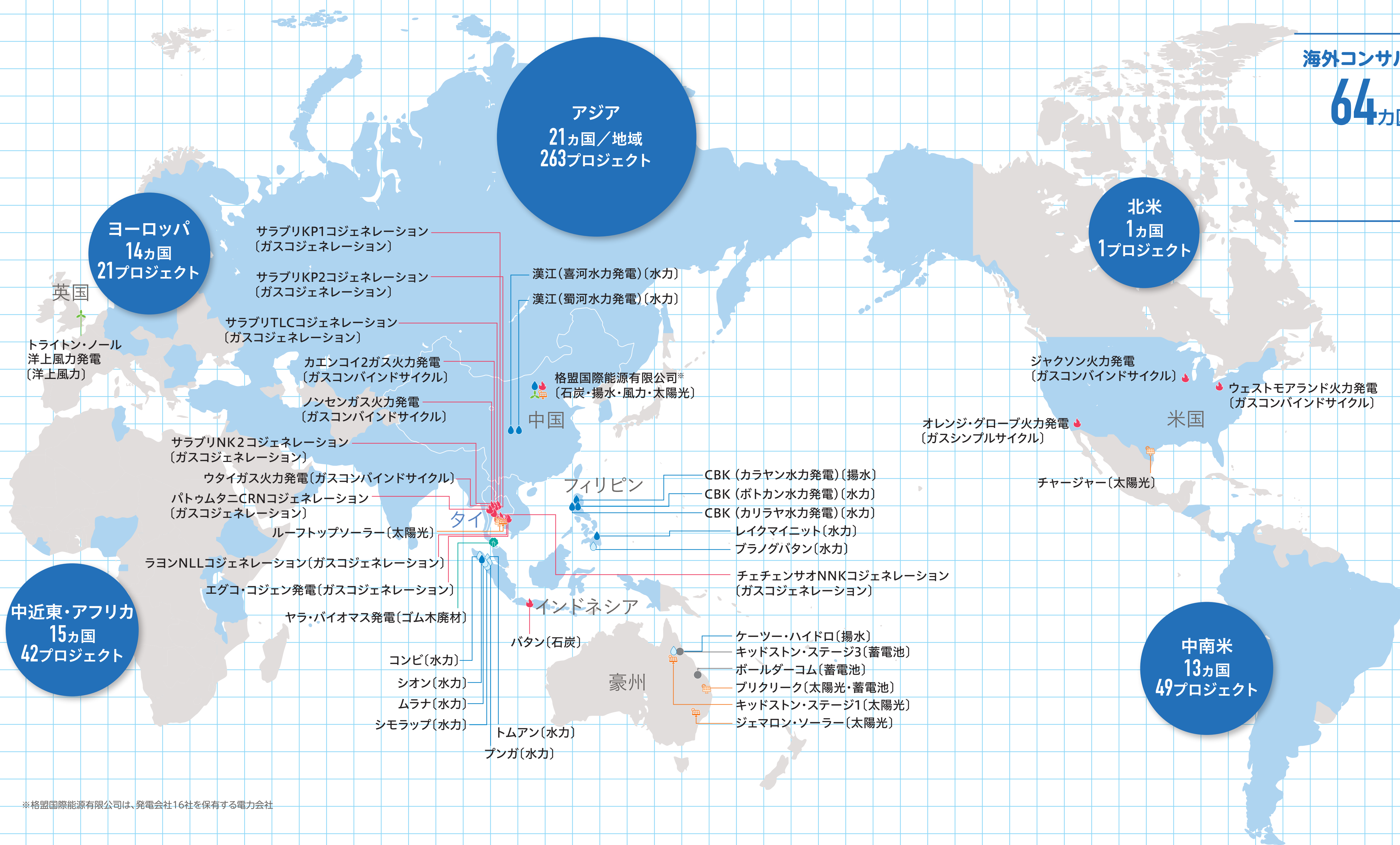
591.1万kW

海外コンサルティング事業実績

64カ国・地域／376プロジェクト

実績のある国／地域

国／地域別件数



※格盟国際能源有限公司は、発電会社16社を保有する電力会社

